

鹿沼図書館ボランティア(KLV:カリーブ)

【活動の概要】 約300名の会員が「本が好きな子」を育てるために、先生と保護者、地域住民と一体となって、鹿沼市内の全小中学校の学校図書館を活動拠点に、本の補修、読み聞かせなど、各学校ごとに特性を生かした活動をしている。

【始めるきっかけ】 小中学校の学校図書館はどちらかというと人気（ひとけ）のないさびしい部屋になっていた。そんな現状に、一人の母親が「子どもたちを学校図書館に呼び戻そう」という提案をした。それを教育委員会が受け入れ、仲間づくりを全面的に支援して、1992年に22人のメンバーがKLV協会を発足させた。

【活動の内容】 ○地域図書関連施設の管理運営
主に学校図書館を活動拠点としているが、活動内容は地域性を生かし、各施設ごとに異なっている。その活動は、新刊本受け入れ・配架・補修・廃棄から、読み聞かせなどの読書普及活動。図書館利用指導、発展教材の読書指導、調べ学習などの授業支援。読書啓発の掲示物づくり、KLV通信発行などの読書環境づくり、さらには本のリサイクル市の開催まで。全体では7分野15種類の活動を行っている。



<読み聞かせの様子>

○部会活動（KLVネットワーク形成とKLV活動の啓発・広報）

施設を越えた、会員同士のネットワーク形成と活動の広報のために、以下の8つの部会活動を行っている。

- 養成講座基礎部会
KLV活動を行うために必要な基本的な知識・技能（図書分類、装備、補修、ファレンス技法など）を身につけるための研修
- 養成講座実践部会
KLV活動を充実させるための実践的な知識・技能（読み聞かせ、ブックトーク、エプロンシアターなど）を身につけるための研修
- 養成講座専門部会
基礎講座・実践講座の枠にとらわれない、会員のより高い資質向上を目的とした研修
- 広報部会
会員相互の情報交換を目的に、KLV通信（8,000部）を発行

-
- ティーサロン部会
会員相互の親睦を目的に、先進地の視察研修や各種集いを運営
 - 読み聞かせ部会
ブックスタートの実施や読み聞かせの会の開催
 - エプロン部会
会員のユニフォームであるエプロンやアームカバーの管理・配布
 - 街角ライブラリー部会
家庭などに眠っている本をリサイクルして活用し、市民が自由に利用できる本棚1つ分のミニ図書館（街角ライブラリー）の普及・運営

【成果と課題】

成果としては、学習支援から環境支援、PTAとの連携や地域とのコーディネートなど活動が幅広く、深まりのあるものになってきた。そして、余裕教室が、空き教室ではなく地域の教育力の拠点になってきた。

また、「ふれあい館」に集う方々も、支援することに対して生きがいを感じ、学校側にとっても支援する方にとっても実りある活動になってきた。

課題としては、余裕教室を活用した様々な活動全体をコーディネートできるような人材の確保である。このような人材が確保できれば、さらに充実した活動が大いに期待できる。

★ ここが特徴！

- ☆ 「生きがい活動支援事業」制度を活用して余裕教室の整備・充実ができた。
- ☆ 余裕教室が、空き教室ではなく地域の教育力の拠点になっている。
- ☆ 「ふれあい館」に集う方々も、学校を支援することに対して生きがいを感じている。
- ☆ 余裕教室を活用する他の活動（PTA活動等）と連携し、それぞれの活動を深め合っている。
- ☆ 学校内ばかりでなく地域と学校を結ぶコーディネートの役割も担っている。